

日本ナシにおける波状棚利用樹形の生育特性(特に初期生育)

福島県果樹試験場 栽培部

平成17年度福島県果樹試験場試験研究成績書

- 1 部門名 果樹－ナシ－整枝・せん定
分類コード 04-03-08000000
- 2 担当者 松野英行・齋藤義雄
- 3 要 旨

日本ナシ「幸水」における波状棚を利用した「波状棚利用H型4本主枝仕立て」(以下「H型樹形」)と「波状棚利用Y字一文字主枝仕立て」(以下「Y字樹形」)について、初期生育特性を明らかにした。

(1) 波状棚を利用した両樹形は主枝先端新梢長、主幹周、主枝長の生育が「平棚4本主枝仕立て」(以下「慣行」という)よりも優り、生育初期の樹冠拡大に優れ、特にY字樹形は7年生で目標とする主枝長(3.5m)に達した。波状棚を利用した樹形は樹冠拡大が優ることから生育初期の生産力にも優れ、両樹形共に定植3年目から収穫がはじまり、特にY字樹形は7年生で10アールあたり3トン近い収量に達した。

(2) 果実品質、腋花芽分化率はH型樹形、Y字樹形共に慣行区と同等であった。Y字樹形は他の2区よりも熟期が遅れる傾向であった。

(3) 波状棚利用樹形の生育特性として、主枝部より直接発生する新梢数が減少する傾向が認められた。さらにH型樹形は主幹延長枝部からの新梢発生が旺盛となる傾向であった。Y字樹形は夏季せん定時以降の側枝基部における新梢生育が旺盛となる傾向であった。

- 4 その他の資料など
なし